

# 国際日本学科 春期オーストラリア英語研修

プログラム区分	語学研修
主幹部署・問合せ先	国際日本学科
研修先国・都市名	オーストラリア・アデレード
研修先	アデレード大学
プログラム概要	<p>本学世界教養学部国際日本学科生、世界教養学科生を対象とした、オーストラリアのアデレード大学にて行う語学研修（英語）である。長期留学志望者、並びに、将来、外国人に日本語を教える日本語教師や中・高等学校での国語や英語教師を目指す者はもちろん、今後多文化共生社会の中で生きていく学生たちが、英語圏で生きた英語に触れ、他国の留学生と交流し、多様な背景を持つホストファミリー宅にホームステイをするという貴重な異文化経験ができるようになっている。</p>
日程	出発予定時期：2026年2月中旬 帰国予定時期：2026年3月中旬 期間：5週間
単位認定	「海外研修ⅡA」4単位
他学科生の受入れ	可 受入れ可の他学科：世界教養学部世界教養学科
語学研修の有無	有
引率者の有無	有
住形態	ホームステイ
その他	・上記内容は変更する場合がある。本研修の詳細は、募集説明会にて確認すること。

# 体験記

## 国際日本学科 春期オーストラリア英語研修に参加して

氏名：今井 千愛 (2024 年度参加)

2月14日から3月24日の約5週間、オーストラリアのアデレードにある、アデレード大学のELC (English Language Centre)にて、ホームステイをしながら英語やオーストラリアの文化を学びました。クラスは日本の他大学の学生と数人の留学生で構成され、平日は一日4時間、オンライン教材を元にリーディング、リスニング、ライティング、スピーキングの四技能を学習しました。また、第4週目にはペアでのポスターセッションがあり、アデレードで毎年開催される Fringe Festival について調べ、発表しました。

当初は、クラスに日本人の学生が多いため、英語学習の機会が少ないのではないかと不安に感じました。しかし、英語力向上のためには、自ら環境を作ることが必要だと考え、クラス内では積極的に英語で会話し、発言するよう努めました。特に、UAE(ドバイ)からの留学生とペアを組んだポスターセッションでは、英語を使う良い機会となりました。この経験を通じて、自らの努力で環境を作り出す重要性を実感しました。

他にも、毎週金曜日は Australian Studies & Popular Culture というクラスを受講していました。このクラスでは博物館を訪れオーストラリアの先住民民族であるアボリジニについて学んだり、アデレードの街を散策してオーストラリアにあるカフェやアートの文化について体感したりすることができました。街のいたるところでコーヒーを片手に歩いている人や建物の壁に描かれている多くの絵を見かけることがありましたが、それらが調和して街全体が美しく感じました。

この5週間の研修を通して、積極性の大切さを学び、日本では経験できない新たな価値観や文化に触れることができました。今後もこうした姿勢を持ち続け、学びを深め、視野を広げていきたいと考えています。

